

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔外国語〕 種目〔英語〕

15 教科 [外国語] 種目 [英語]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書(教科 [外国語] 種目 [英語])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(6者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- まとまりのある文章を読んで説明文等の大切な部分を理解することに課題が見られること
- 与えられた情報に基づいて正確に書くことや、自分の考えや意見を書くことに課題が見られること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
- 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方や巻末資料の工夫」
- 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた、複数の領域を統合した言語活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

(1) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習をふり返ろう-CAN-DO リスト」を裏見返しに掲載しており、小学校から高等学校を含め、前学年、当該学年、次学年の目標を示している。また、Stage を3つに分け、自己評価できるようになっている。 ○ 単元の目標を、第1学年では活動について、第2学年以降は題材と活動について、「～することができる」の形で、扉に日本語で示している。また、単元の終末に、生徒が目標について自己評価する箇所を設けている。 ○ 第3学年の Let's Read 1 「A Mother's Lullaby」で、広島原爆や、オバマ大統領の来広について扱っている。
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「英語で『できるようになったこと』リスト」を巻末資料に掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。また、「できるようになったこと」について、自己評価できるようになっている。 ○ 単元の目標を、「～する」の形で、扉に日本語で示している。また、各目標に対応したページの下に、理解を確認する欄を設けている。 ○ 第2学年の PROGRAM 8 「A Hope for Lasting Peace」で、佐々木禎子さんと折り鶴について扱っている。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「What Can I do?」を裏見返しに掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。 ○ 単元の目標を、「USE」パートごとに、「～しよう」の形で、扉に日本語で示している。 ○ 第3学年の Lesson 3 「The Story of Sadako」で、佐々木禎子さんについて扱っている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「CAN-DO 自己チェックリスト」を裏見返しに掲載しており、前学年、当該学年、次学年の到達目標を示している。また、4段階で示された顔マークを付して、到達度を自己評価できるようになっている。 ○ 単元の目標を、「Speak about～」や「Talk and Write about～」の形で、扉に英語で示している。また、パートごとに、「～しよう」の形で、各ページの上部に、知識・技能等の目標を日本語で示している。さらに、単元の終末に、各目標に対する「ふり返ろう」を設定している。 ○ 各パートに設定されている知識・技能等に関する目標について、達成度を評価する「Think & Try」を設定している。 ○ 第3学年の Reading 2 「My Prayer for Peace」で、広島に住んでいる中学生のスピーチを題材として、原爆に遭った少女の話や映画、オバマ大統領の来広について扱っている。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「CAN-DO List」を巻末付録に掲載しており、学年ごとに、レベルが上がるように到達目標を示している。また、4段階で示された顔マークとチェック欄を付して、到達度を自己評価できるようになっている。 ○ 単元の目標とそれに関わる技能を、「～することができる」の形で、扉に日本語で示している。また、単元の終末に、目標に対応した「ふり返り」を設けている。 ○ 第3学年の Unit 3 「Lessons From Hiroshima」や Let's Read 「From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi」で、ピースボランティアや原爆で犠牲になった中学生の日記を扱っている。
新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「CAN-DO リスト」を巻末に掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。また、チェック欄を付して、自己評価できるようになっている。 ○ 単元の目標を、「～することができる」の形で、第1学年は単元1ページ目の上部に、第2・3学年は扉に日本語で示している。また、パートごとに、「～しよう」の形で、各ページの上部に、知識・技能等の目標を日本語で示している。 ○ 第3学年の Unit 3 「Passing Down Memories」で、語り部伝承プロジェクトを扱っている。

(2) 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方や巻末資料の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、第3学年の表見返しに、SDGsに関するテーマを示している。 ○ 各学年、各単元の冒頭と「Scene」と「Read and Think」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。 ○ 各学年、単元間や巻末に資料として、コミュニケーションに役立つ「Word Room」をイラスト付で収録している。 ○ 巻末資料の「Optional Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に2～3つ掲載している。
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、各単元の「Retell」に、再話活動で活用する、場面ごとのイラストや写真を掲載している。 ○ 各学年、各単元の「Scenes」、「Think」、「Retell」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。 ○ 各学年、巻末資料として、コミュニケーション活動に役立つ「アクションカード」を収録している。 ○ 巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、第3学年に2つ掲載している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストが示されている。 ○ 各学年、各単元の「GET」、「USE」、「Take Action!」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。 ○ 各学年、巻末資料として、日常生活を題材とした「Role-Play Sheet」をイラスト付で収録している。 ○ 巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～2つ掲載している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されており、いずれも、SDGsに関するテーマとなっている。 ○ 各学年、各単元の冒頭に、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。 ○ 各学年、巻末資料として、「即興で自分のことや考えを伝える」などのコミュニケーションを行う題材となるカードを収録している。 ○ 各学年の巻末に、学習した内容を活用し、ペアでの応答や即興的なやり取り・発表をするための話題や語彙を示した「Activities Plus」を、赤マスキングシートを付して収録している。 ○ 巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～4つ掲載している。

光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストが示されている。また、巻末の帯教材に、再話活動で活用する、場面ごとのイラストや写真を掲載している。 ○ 各学年、各単元の冒頭とパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。 ○ 各学年、巻末資料として、自分や相手のことについて、即興でやり取りするための「Let's Talk!」を収録している。 ○ 巻末資料の「Let's Read more」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～3つ掲載している。
新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。 ○ 各学年、各単元のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。

(3) 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた、複数の領域を統合した言語活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「Stage Activity」(年3回)で設定しており、活動の過程に「読む・書く・やり取り」や「聞く・話す(発表)・書く・話す(やり取り)・読む」等、3～5領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「町のおすすめ場所の紹介」や「自分の活動記録」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、第1学年後半から、各単元内の「Unit Activity」や、各単元内の「Mini Activity」で設定し、「聞く・読む・話す(発表・やり取り)」等、2～4領域を統合した発信型の言語活動になっている。(例：第2学年14回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Let's Read」や「Let's Write」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」、「書く」の4領域を扱っている。
開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「Our Project」(年3回)で設定しており、活動の過程に「聞く・話す(やり取り・発表)・書く」や「聞く・読む・話す(やり取り)・書く・話す(発表)」等、4～5領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「1枚の写真紹介」や「夢の旅行企画」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、各学年、各単元末の「Interact」で設定し、「話す(やり取り)」に焦点を当てたものと、「話す(やり取り・発表)・書く」等、2～3領域を統合した言語活動になっている。(例：第2学年16回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Power-Up」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り・発表)」、「書く」の5領域を扱っている。

三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「Project」(年3回)で設定しており、活動の過程に「聞く・書く・話す(発表)」や「聞く・話す(やり取り)・読む・書く・話す(発表)」等、3～5領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「英語のタウンガイド作成」や「修学旅行のプラン提案」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、第1学年中盤から、各単元の「USE Speak」や、「USE Write」等で設定し、「読む・話す(やり取り・発表)・書く」等、2～4領域を統合した言語活動になっている。(例:第2学年15回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各学年、各単元の各パート以外に、「Take Action! Talk」や「READING FOR FUN」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」の3領域を扱っている。
教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「Project」(年2～3回)で設定しており、活動の過程に「読む・書く」や「聞く・書く・話す(発表・やり取り)」等、2～4領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「アンケート調査の発表」や「CM作成」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、第1学年中盤から、各単元末の「Task」や、各単元、各パートの「Think & Try」で設定し、「聞く・書く」、「聞く・話す(発表)」や「読む・話す(発表・やり取り)」、「読む・書く」等の2領域を統合した様々な種類の言語活動になっている。(例:第2学年36回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Tips for Speaking / Listening / Reading / Writing」、「Reading」等で、「聞く」、「読む」、「話す(発表)」、「書く」の4領域を、コツを示すとともに扱っている。
光 村 図 書 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「You Can Do It!」(年3回)で設定しており、活動の過程に「読む・話す(発表)」や「聞く・書く・話す(やり取り)」等、2～3領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「学校行事の紹介」や「職業診断チャート作成」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、各学年、各単元末の「Goal」や各パートの「Speak / Write」で設定し、「聞く・話す(やり取り)」や「読む・書く」等、2領域を統合した言語活動になっている。(例:第2学年32回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Your Coach」や「Let's Read」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」の3領域を扱っている。
新 興 出 版 社 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動は、「Project」(年2～3回)で設定しており、活動の過程に「読む・書く」や「読む・書く・話す(発表・やり取り)」等、2～4領域を統合した言語活動になっている。 ○ 各活動は、目的・場面・状況が分かるように、「学校紹介」や「伝統行事紹介」等、様々なテーマを設定している。 ○ 複数の領域を統合した活動は、第2学年初めから、各単元末「Express Yourself」や、各単元、各パートの「Use」で設定し、「聞く・書く・話す(発表)・話す(やり取り)」の4領域を統合した言語活動になっている。(例:第2学年32回) ○ 各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Let's Talk」や「Let's Read」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」の3領域を扱っている。

3 意見

(1) 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、単元の目標を、「Speak about～」や「Talk and Write about～」の形で、扉に英語で示している。また、パートごとに、「～しよう」の形で、各ページの上部に、知識・技能等の目標を日本語で示している。さらに、単元の終末に、各目標に対する「ふり返ろう」を設定している。
- 視点③の工夫として、各パートに設定されている知識・技能等に関する目標について、達成度を評価する「Think & Try」を設定している。
- 視点⑦の工夫として、各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されており、いずれも、SDGsに関するテーマとなっている。
- 視点⑦の工夫として、各学年の巻末に、学習した内容を活用し、ペアでの応答や即興的なやり取り・発表をするための話題や語彙を示した「Activities Plus」を、赤マスキングシートを付して収録している。
- 視点⑦の工夫として、巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～4つ掲載している。
- 視点⑧の工夫として、複数の領域を統合した活動は、第1学年中盤から、各単元末の「Task」や、各単元、各パートの「Think & Try」で設定し、「聞く・書く」、「聞く・話す(発表)」や「読む・話す(発表・やり取り)」、「読む・書く」等の2領域を統合した様々な種類の言語活動になっている。
- 視点⑧の工夫として、各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、「Tips for Speaking / Listening / Reading / Writing」、「Reading」等で、「聞く」、「読む」、「話す(発表)」、「書く」の4領域を、コツを示すとともに扱っている。

以上のとおり、教育出版の教科書は、1(1)に記した、本市の生徒の「まとまりのある文章を読んで説明文等の大切な部分を理解することに課題が見られる」、「与えられた情報に基づいて正確に書くことや、自分の考えや意見を書くことに課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、外国語科 英語で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点③の工夫として、単元の目標を、第1学年では活動について、第2学年以降は題材と活動について、「～することができる」の形で、扉に日本語で示している。また、単元の終末に、生徒が目標について自己評価する箇所を設けている。
- 視点⑦の工夫として、各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、第3学年の表見返しに、SDGsに関するテーマを示している。
- 視点⑦の工夫として、巻末資料の「Optional Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に2～3つ掲載している。
- 視点⑧の工夫として、複数の領域を統合した活動は、第1学年後半から、各単元内の「Unit Activity」や、各単元内の「Mini Activity」で設定し、「聞く・読む・話す(発表・やり取り)」等、2～4領域を統合した発信型の言語活動になっている。
- 視点⑧の工夫として、各領域に焦点を当てた活動は、各単元の各パート以外に、各学年、「Let's Read」や「Let's Write」等で、「聞く」、「読む」、「話す(やり取り)」、「書く」の4領域を扱っている。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の生徒の「まとまりのある文章を読んで説明文等の大切な部分を理解することに課題が見られる」、「与えられた情報に基づいて正確に書くことや、自分の考えや意見を書くことに課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、外国語科 英語で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔特別の教科 道徳〕 種目〔道徳〕

16 教科 [特別の教科 道徳] 種目 [道徳]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書（教科 [特別の教科 道徳] 種目 [道徳]）」（以下、「報告書」という。）並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者（7者）の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

(1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について

- 各学校において、「いじめ見逃し0（ゼロ）」を目指し取組を進める中で、いじめの認知件数は増加傾向にあり、いじめの未然防止に向けた取組を推進していること
- 生徒が当事者として、道徳的な課題に主体的に対処することのできる実効性ある力の育成に取り組むことが必要であること

(2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について

- 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「体験的な学習を取り入れた工夫」
- 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑦「いじめの問題や現代的な課題等を踏まえた内容の示し方」
- 観点5「言語活動の充実」、視点⑩「考え、議論するための工夫」

2 各発行者の特徴（抜粋）

(1) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「体験的な学習を取り入れた工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、直前の教材文に関連した学習「ACTION!（アクション）」に、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、自分の考えを記入する欄とともに示している。 【体験的な学習の例】 「缶コーヒー」（第3学年）C 遵法精神、公德心 ① 「缶コーヒー」で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。 ② 3人一組になって、「会社員の女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。 ③ 役を交替しながら、全員が全ての役を演じましょう。 ④ それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。 ⑤ コーヒー缶が落ちそうになっているときに、「会社員の女性」と「私」は、本当はどうすればよかったのでしょうか。それを見て、「竹内さん」は何と言ったでしょう。考えて書きましょう。 ⑥ ⑤で考えたことをもとにして、3人でそれぞれの役を演じてみましょう。 ⑦ 本当はどうすればよいのかを、クラス全員で話し合ひましょう。 ⑧ 今日の学習をふり返って、気づいたこと、感じたことについて話し合ひましょう。
------	--

教育出版	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、1～2つ掲載し、教材文の終わり「やってみよう」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 「校長先生の模擬面接」(第3学年) B 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ・ 皆さんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましょう。そして、演じてみた感想を書きましょう。 ・ これまで、エスカレーターに乗るときは「歩く人のために片側をあける」というのがマナーになっていました。しかし、最近では「歩行禁止」がマナーになりつつあります。 <p>なぜ変わってきたのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。</p>
光村図書出版	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、1つ掲載し、教材文の終わり「見方を変えて」のコーナーに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや吹き出しとともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元さんは、規則を知っていながら、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろう。 ・ 元さんが、「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。 ・ もし、入園終了時間直後の姉弟がやって来た場面に戻れたとしたら、元さんは、どうするだろう。(元さんと姉弟を演じて、考えてみよう。/演じているのを見ていた人は、元さんと姉弟のやり取りから、どんなことを感じたかを発表しよう。)
日本文教出版	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、教材文の終わり「学習の進め方」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、写真とともに示しており、別冊「道徳ノート」に自分の考えを記入するページを設けている。</p> <p>○ 「学習の進め方」の教材名の下に、どのような体験をとおして何を考えるのかを示している。また、教材に関連した資料や演技を見るときと意見発表のときのポイントを「学習を深めるヒント」のコーナーに記載している。</p> <p>【体験的な学習の例】 「出迎え三步、見送り七歩」(第3学年) B 礼儀</p> <p>お客様を出迎え見送る体験をとおしておもてなしの心について考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お客様の出迎え方と見送り方について、グループで話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家に大切なお客様をお招きするとき、玄関でどのように出迎えればよいか。 ・ お客様が席を立て、玄関から帰るまで、どのように見送ればよいか。 ② <体験しよう> ①で話し合った出迎え方、見送り方をみんなの前で演技してみよう。 ③ 演技のあと、感想や意見を発表し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出迎える側、出迎えられる側の思い。 ・ 見送る側、見送られる側の思い。 ④ <考えてみよう> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「出迎え三步、見送り七歩」を読み、山折りさんが「『もてなし』の極意」ではないかと感じたのはどんなことか考えてみよう。 ・ 体験したことにあわせて、お客様と接するとき、どんな心構えが大切かも話し合ってみよう。

<p>学研教育みらい</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、複数掲載し、教材文の終わり「深めよう」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】</p> <p>「笛」(第3学年) B. 相互理解、寛容</p> <p><考えよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笛は誰のものにすべきだっただろう。3人の少年アンドレ、マイケル、ピート、それ以外の人だろうか。○を付けて、理由を書こう。 <p><やってみよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少年たちが笛を誰のものにするか話し合っている場面を演じてみよう。4人組で役割演技を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 3人の少年役と仲介役を決める。仲介役は、3人の話を聞き、自分の考えを伝え、解決できるように説得する。3人の少年は自分の立場から考えを話す。 ② 役割を交代する。4人の役を全員が経験するように繰り返す。 ③ 仲介役の演技を通して考えたことを話し合う。
<p>廣済堂あかつき</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、各学年、複数掲載し、教材文の終わり「考える・話し合う」のコーナーに、複数の発問を示している。</p> <p>【体験的な学習の例】</p> <p>「席を譲られて」(第3学年) B 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高橋健二氏のしぐさを見て、私が見た「美しいもの」とはなんだろう。 ・ 席を譲られた人の心には、何がなければならぬのだろう。 ・ 礼儀に込めなければならぬ心について考えてみよう。 ・ 老人や赤ん坊を抱いた人、障害のある人等に席を譲るとき、どのようなことに心がければよいだろうか。
<p>日本教科書</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を、複数掲載し、教材文の終わり「考え、話し合ってみようそして、深めよう」のコーナーなどに発問を示している。</p> <p>【体験的な学習の例】</p> <p>「礼儀はなぜ必要なのか」(第3学年) B 礼儀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の三つの場面において、“最も礼儀正しい振る舞い”と“最も無礼な振る舞い”は何でしょうか。(初めて人に会う時/不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時/プレゼントを人からもらった時) ・ なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。

(2) 観点3「内容の構成・配列・分量」、視点⑦「いじめの問題や現代的な課題等を踏まえた内容の示し方」

<p>東京書籍</p>	<p>○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、3つの教材で構成したユニット「いじめのない世界へ」を1つ設定し、目次にピンク色の枠で示している。また、ユニットの扉ページを設け、1年間にユニットで学ぶ教材や登場人物の紹介を掲載している。</p> <p>○ 各学年の巻末「テーマでふり返ろう」に、現代的な課題を「いじめ・人権」など6つのテーマで教材名とともに示している。</p>
-------------	--

教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、2～5つの教材を掲載している。複数の教材やコラムで構成したユニット「いじめや差別のない社会について考える」を第1学年では2つ、第2・3学年では1つ設定し、目次に青色の枠で示している。また、ユニットの扉ページを設け、いじめに立ち向かうことを促すメッセージを掲載している。 ○ 各学年、特集ページ「いじめに立ち向かう」を設け、いじめと向き合うための資料とともに発問を掲載している。 ○ 各学年の巻頭「この教科書で学んでいくテーマ」に、現代的な課題を「いじめ・人権」など7つのテーマで教材名とともに示している。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、3つの教材やコラムで構成したユニット「いじめを許さない心について考える」を1つ設定し、目次に緑色の線で示している。さらに、1つ目の読み物教材で学んだことを深められるよう、同じ内容項目で、2つ目の教材「深めたいむ」を掲載している。 ○ 各学年の巻末「教材別テーマ一覧」に、現代的な課題を「いじめを許さないために」など7つのテーマで教材名等とともに示している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、5～7つの教材を掲載している。複数の教材やコラムで構成したユニット「『いじめ』と向き合う」を第1学年では3つ、第2・3学年では2つ設定し、目次にオレンジ色の線と枠で示している。また、ユニットの扉ページを設け、いじめ問題について考える上で意識したいことをメッセージで示すとともに、1年間にユニットで学ぶ教材やコラムの紹介を掲載している。 ○ 各学年、コラム「プラットホーム」を設け、いじめと向き合うための資料とともに発問を掲載している。 ○ 各学年の巻頭「この教科書で学ぶテーマ」に、現代的な課題を「『いじめ』と向き合う」など10のテーマで教材名とともに示している。
学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、4～6つの教材を掲載している。 ○ 第1学年に、コラム「クローズアップ」を設け、いじめと向き合うための資料を掲載している。 ○ 各学年の巻頭「さまざまなテーマで学ぼう」に、現代的な課題を「いじめをなくすために」など6つのテーマで教材名とともに示している。

廣済堂あかつき	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、各学年、4～6つの教材を掲載している。 ○ 各学年、巻末の特集ページ「いじめを許さない私たちの心」及び別冊に、いじめと向き合うための資料を掲載している。 ○ 各学年の巻末「内容一覧」に、現代的な課題を「いじめ」など3つのテーマで示している。
日本教科書	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを自分の問題として考え、議論することができるよう、複数の教材を掲載している。

(3) 観点5「言語活動の充実」、視点⑩「考え、議論するための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材、ユニット学習及びコラムのページでは、考え、話し合うことを促す発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を設けている。 ○ 各学年に巻末付録として、切り取り可能なホワイトボードや「心情円」を掲載している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材及びコラムのページでは、考え、話し合うことを促す発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を設けている。
光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材及びコラムのページでは、考え、話し合うことを促す発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を設けている。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材、ユニット学習及びコラムのページでは、考え、話し合うことを促す発問を示している。また、1教材1ページで構成した別冊「道徳ノート」には、めあてを記入できる欄、考えることや考えたことを記入する欄、他者の意見や話し合いをメモする欄を設けている。さらに、様々な教材に対応できるように、教材名や内容項目、主題名等を空白にしたページを設けている。 ○ 各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。

学研教育みらい	○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材、ユニット学習及びコラムのページでは、考え、話し合うことを促す発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を設けている。
廣済堂あかつき	○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材及び特集ページでは、考え、話し合うことを促す発問を示すとともに、別冊「中学生の道徳ノート」の「学習の記録」に自分の考えを記入する欄を設けている。
日本教科書	○ 多面的・多角的な視点から自らの価値観を見つめ直すことができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材及び特集ページでは、考え、話し合うことを促す発問を示したり、自分の考えを記入する欄を設けたりしている。

3 意見

(1) 日本文教出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点④の工夫として、体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、教材文の終わり「学習の進め方」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、写真とともに示している。また、別冊「道徳ノート」に自分の考えを記入するページを設けている。
- 視点⑦の工夫として、複数の教材やコラムで構成したユニット「『いじめ』と向き合う」を第1学年では3つ、第2・3学年では2つ設定し、各学年、合計5～7つの教材を掲載している。また、ユニットの扉ページを設け、いじめ問題について考える上で意識したいことをメッセージで示すとともに、1年間にユニットで学ぶ教材やコラムの紹介を掲載している。
- 視点⑦の工夫として、各学年、コラム「プラットフォーム」を設け、いじめと向き合うための資料とともに発問を掲載している。
- 視点⑩の工夫として、1教材1ページで構成した別冊「道徳ノート」に、めあてを記入できる欄、考えることや考えたことを記入する欄、他者の意見や話し合いをメモする欄を設けている。また、様々な教材に対応できるよう、教材名や内容項目、主題名等を空白にしたページを設けている。
- 視点⑩の工夫として、各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。

以上のとおり、日本文教出版の教科書は、1(1)に記した、本市の「いじめの未然防止に向けた取組を推進している」という実態や、生徒の「当事者として、道徳的な課題に主体的に対処することのできる実効性ある力の育成に取り組むことが必要である」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、道徳科で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点④の工夫として、体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、直前の教材文に関連した学習「ACTION! (アクション)」に、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、自分の考えを記入する欄とともに示している。
- 視点⑦の工夫として、ユニット「いじめのない世界へ」を、各学年1つ設定し、3つの教材を掲載している。また、ユニットの扉ページを設け、1年間にユニットで学ぶ教材や登場人物の紹介を掲載している。
- 視点⑩の工夫として、各学年に巻末付録として、切り取り可能なホワイトボードや「心情円」を掲載している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「いじめの未然防止に向けた取組を推進している」という実態や、生徒の「当事者として、道徳的な課題に主体的に対処することのできる実効性ある力の育成に取り組むことが必要である」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、道徳科で使用する教科書としてふさわしいと考える。

「令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について(答申)」において意見を付された教科用図書一覧

番号	種 目	発 行 者	
		よりふさわしい	ふさわしい
1	国 語	光村図書出版	東京書籍
2	書 写	光村図書出版	東京書籍
3	社 会 (地理的分野)	東京書籍	帝国書院
4	社 会 (歴史的分野)	東京書籍	帝国書院
5	社 会 (公民的分野)	東京書籍	帝国書院
6	地 図	帝国書院	東京書籍
7	数 学	学校図書	東京書籍
8	理 科	新興出版社啓林館	東京書籍
9	音 楽 (一般)	教育芸術社	教育出版
10	音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	教育出版
11	美 術	光村図書出版	日本文教出版
12	保健体育	大修館書店	学研教育みらい
13	技術・家庭 (技術分野)	開隆堂出版	東京書籍
14	技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版	東京書籍
15	英 語	教育出版	東京書籍
16	道 徳	日本文教出版	東京書籍